



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第32回例会(3月15日)
平成31年3月29日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 坂本広行
川徳デパート内 幹 事 藤村吉隆
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代) 会 報 吉田幸一
例 会 日 毎週金曜日12時30分~ クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ BE THE INSPIRATION:インスピレーションになろう…バリー・ラシン
盛岡RC会長テーマ -80年の歴史と伝統、繋いでいこう奉仕と友情-坂本広行



ゲスト卓話

フードバンク岩手の取り組みと現状

特定非営利活動法人
フードバンク岩手 副理事長/事務局長

阿部 友幸 様

●スピーカー紹介●

2011年3月11日、東日本大震災発生以来、生活支援相談員として盛岡に避難してきた世帯へ全戸訪問（4年間で17,500世帯）
2012年フードバンク岩手 設立準備開始・2014年活動開始（2015年法人格取得）
NPO法人 フードバンク岩手 副理事長/事務局長
一般社団法人 岩泉よりせい・未来ネット 理事
一般社団法人 全国フードバンク推進協議会 理事
一人一人が大事にされる災害復興法をつくる会 世話人
いわてNPO災害支援ネットワーク 幹事

1. フードバンクとは

私たちフードバンク岩手は、企業・個人・農家から食べ物を集め、生活困窮者支援団体・相談窓口・施設などに配布する役目を担います。市民・行政・企業・NPO等と取り組み、SDGs(持続可能な開発目標)=末尾(注)参照=の1「貧困をなくそう(生活困窮)」、12「つくる責任つかう責任(食品ロス)」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」に取り組んでいます。

解決したい課題として、

1) 12「食品ロス削減」(持続可能な消費と生産のパターンを確保する。2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の1人あたりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる)

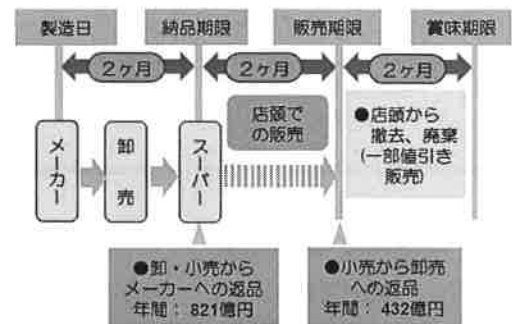
2) 1「貧困(生活困窮)」(あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ。2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にあるすべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる)があります。

2. 食品が捨てられる理由(食品ロス問題)と貧困(生活困窮)

食品が捨てられる理由には、製造段階での印字ミス・規格外品の発生、製造過多という製造業段階の理由があります。卸売業段階では流過程での食品の汚損・破損、小売業段階では需要予測のずれによる売れ残りというそれぞれの理由があります。

小売業段階の需要予測のずれには、新商品販売や規格に合わせて店頭から撤去された食品(定番カット)や納品期限(販売期限)切れによる受取拒否があります。業界ではいわゆる1/3ルールがあります。(下図参照)小売店に並ぶまでには賞味期限の1/3まで、店頭販売は1/3、残りの1/3は店頭から撤去や一部値引き販売となっています。

日本の年間食品仕向け量は8,291万トン、その1/3



にあたる2,842万トンが廃棄され、そのうちまだ食べられたのに廃棄した「もったいない」食べ物は1年間で事業系357万トン、家庭系289万トンの合計646万トン(農水省2017年調べ)です。これらを削減するだけでも、世界に貢献できるのです。

貧困(生活困窮)について。国内の全世帯の真ん中の順位の世帯の可処分所得245万円、その半分の122万円が相対的貧困ラインとなります。日本では15.6%がそのラインを下回っています。子どもの貧困率は13.9%、7人に1人が貧困状態です。ひとり親世帯では50.8%に達します。(厚生労働省相対貧困率2015年)

3. フードバンク岩手のしくみ

私たちは、生産者や個人、企業などから食料を集め、最寄りの相談機関・団体に提供します。支援される方々はその支援期間や団体に相談します。その機関・団体は県内に

・食料品回収拠点 フードドライブ常設拠点 →10市町、30カ所

・食料品出庫先 困窮者支援NPO 5市町 15団体/ 施設等 2市5施設/ 社会福祉協議会 28市町村/ 要請はまだないが合意済みの社会福祉協議会 2/市町村役所 10市町 あります。

そして、フードバンク岩手はこれらの支援機関・団体とつながりながら食のセーフティネットを創造しています。

4. 岩手県の現状

岩手県では、住宅が壊れた（大規模半壊以上）の方々の場合には、被災者として支援制度があります。ところが、「家族がなくなった」「会社が被災して再開を諦めた（倒産）」「農地が被害にあって使用できなくなった」「経営していたアパートが倒壊（流失）した…などなど住宅被害に遭った方々だけではない、罹災証明の有無に関係なく“被災者”がいます。

そういった方々は、様々な事情があり、半壊以下は支援金がなかったため震災以前の住宅ローンに加えて修理のための建材費の高騰などの二重ローンに苦しみ、健康的な生活を送るだけの十分な修理もできていない場合も多くあります。

盛岡市内の支援機関等への食品寄付量は2017年度で、こども応援プロジェクト3837.7kg（421世帯）、施設788.1kg（10回）、子ども食堂・学習支援・NPO等1050.5kg（50回）、盛岡市役所592.8kg（55件）、盛岡市社協1578.8kg（153件）、自立支援相談窓口787.8kg（112件）の計8635.7kgに達しました。

また、盛岡市内からの2017年度食品寄付量は7985.7kgで内訳は企業45.5%、個人54.5%と個人が上回っていました。

5. おわりに

食品ロスなど何らかの理由で売れなくなったものや、戸棚に眠っている食べ物などを、フードバンク岩手を通じて、地域の児童施設や生活に困っている人たちにお渡しする活動しております。賞味期限を一ヶ月以上残っているおかず類や麺類、調味料、贈答品をお寄せください。岩手銀行様も社内のイベント会場でフードドライブを行っております。震災から8年がたちます。まだまだ支援が必要な方々が多いことを忘れずにいてください。本日はご静聴ありがとうございました。

注）持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

例会報告

第32回例会
平成31年3月15日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 坂本広行会長
- ・ロータリーソング
(それでこそロータリー)
- ・ゲスト 阿部知幸様 (NPO法人
フードバンク岩手 副理事長)
- ・会長報告 坂本広行会長
- ・功労者表彰
ロータリー財団マルチプルフェロー：
岡村 弥会員
- ・結婚祝 佐藤年男君
- ・幹事報告 藤田治彦副幹事
- ・終了後臨時理事会
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

- ◆大久保嘉二君…先週お伝えした「あまちゃん」総集編の再放送ですが、ピエールのせいで17日午後1時からの前編のみの放送になりました。ドラマとして完結しない異例の放送になりますご理解下さい。すべて中止よりは良かったと思います。
- ◆海野尚君…^{おまむ}海野経生誕100年の展示会は無事終了いたしました。みなさまの来場ありがとうございました。父もなつかしいみなさまに会えて喜んでいました。父に代わってニコニコします。
- ◆作田尋君…3年という短い期間で

はありましたが、大変お世話になりました。盛岡ロータリーの皆さんと様々なお話が出来、勉強になりましたし、充実した3年になりました。ありがとうございました。岩手経済の更なる発展、皆さまの益々のご活躍をお祈りしてニコニコします。

●メイクアップ

青森R.C.=大泉君。
仙台南R.C.=橋本君。
クラブ委員会=伴・千葉・福田・藤村(文)・福井・砂子田・掛上・勝・川村(勝)・栗田・熊谷(隆)・三田・中村・岡村・下道・米内・佐藤(年)・吉田(明)・眞下君

出席報告

会員数/78名

出席数/53名

出席率/71.62%

前々回/84.93%



プログラムのお知らせ

- ・3月29日(金) 地区大会説明会
- ・4月5日(金) 新人会員卓話 石田亨会員「山田線あれこれ」
- 12日(金) 会員卓話 佐藤重昭会員
- 21日(日) 地区大会 (19日例会変更)
- 25日(木) 観桜家族会 (26日例会変更)
- ・5月3日(金) 祝日休会

●本号編集担当/金沢 滋様